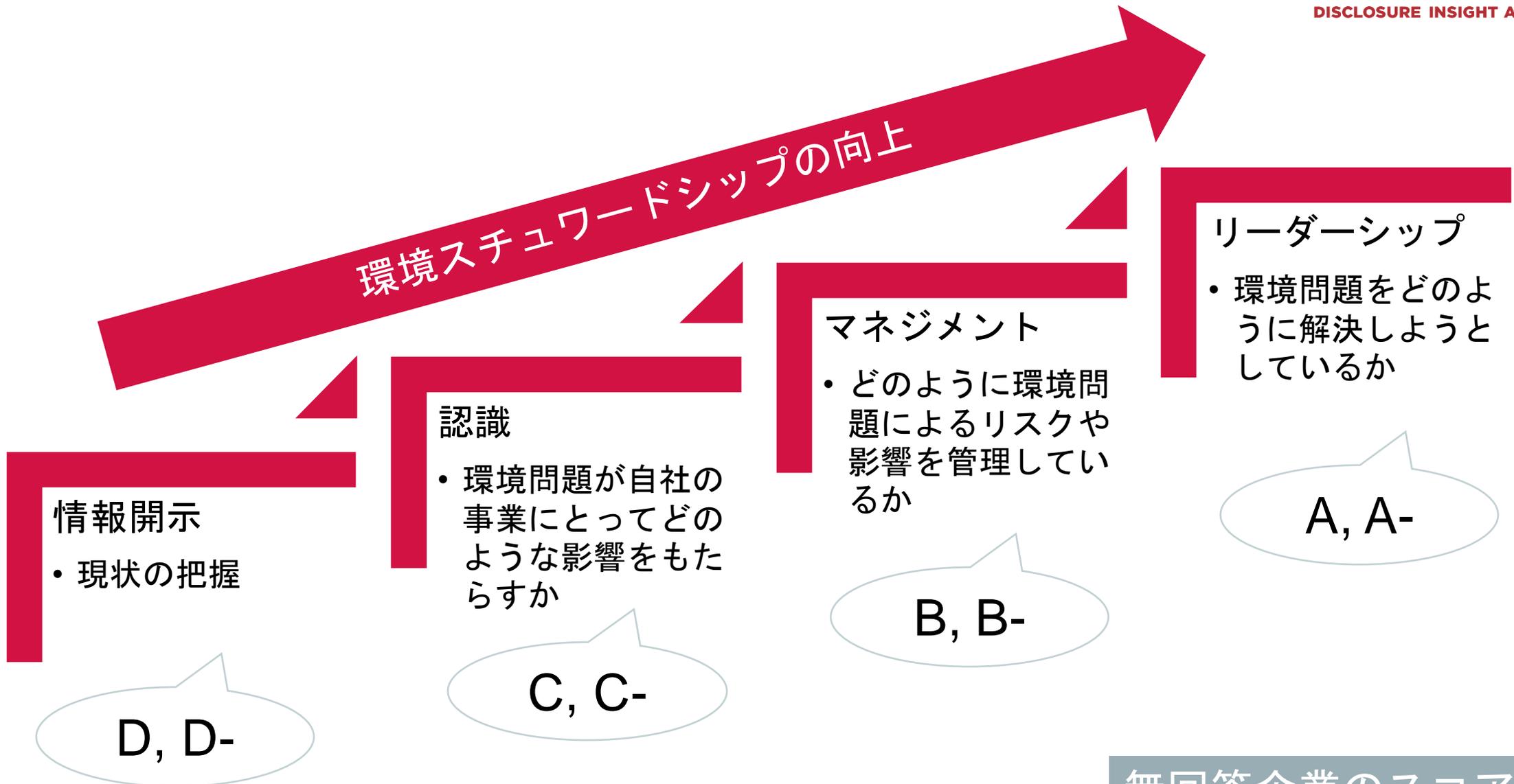


# CDP2022 スコアリング 各種注意点

CDP Worldwide-Japan  
Project Manager  
塚本悠平

# CDPスコアの意味



# CDPスコアの意味



## 情報開示レベル (D、D-)

- ▼ 回答の完全性を示す
- ▼ データの信頼性と品質の向上を推進
- ▼ 質問書に回答する準備ができているが、ステewardシップに向けた努力は成熟していない

## 認識レベル (C、C-)

- ▼ 事業で環境問題の影響を考慮していることを示す
- ▼ 開示による透明性を高めるところから進んで、環境問題に関する認識を深めている段階

# CDPスコアの意味



## マネジメントレベル (B、B-)

- ▼環境リスクやその影響に対するアクションをとっていることを示す
- ▼環境リスクやその影響をトラッキングし、緩和したりなくしたりしようとしている

## リーダーシップレベル (A、A-)

- ▼環境問題の管理においてベストプラクティスを行っていることを示す
- ▼環境問題について自社の事業に沿った理解をしており、その認識や実行したアクションについて説明できている

**Aスコアの企業は、Aリスト企業＝優秀企業として特別に認定されます。**

# スコアリング要件



スコアを得る、つまり評価対象となるためには、以下のいずれかの要件を満たす必要があります。

## 【スコアリング要件】

- ▼ **完全版質問書**に回答し、回答×切までに提出する
- ▼ **顧客**から回答要請を受け（投資家からの回答要請の有無にかかわらず）、**簡易版質問書**に回答し、回答×切までに提出する

# Aリスト要件



スコアが高得点で、気候変動や水問題、森林減少によるリスクを緩和するためのベストプラクティスとして認められる企業をAリスト企業に認定しています。

## 【Aリスト認定プロセス・要件】

1. スコアがAレベルの閾値をクリアしている
2. 各質問書テーマごとの条件を満たしている（次ページ参照）
3. 回答を公表している
4. CDP スコアリングチームによる回答の再確認
5. 評判リスクに関するチェック
6. CDPスコアリング運営委員会の最終承認

# Aリスト要件

※詳細な要件は、各質問書別の詳細版ウェビナーを参照してください。



## 気候変動

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(C6.4, C6.4a)
- スコープ1および2総排出量のそれぞれ、またスコープ3の少なくとも一つのカテゴリーの排出量について70%以上の第三者検証を受けている (C10.1a、C10.1b、C10.1c)
- スコープ1および2総排出量を回答している(C6.1、C6.3)

## 水セキュリティ

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(W0.6、W0.6a)

## フォレスト

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(F0.5, F0.5a)
- すべての直接操業とサプライチェーンの包括的、かつ、徹底的なリスク評価が行われたことを実証している(F2.1a)
- 森林減少と森林劣化に関連したコミットメントに向けた行動を実証している(F4.5、F4.5a、F4.6、F6.1、F6.2、F6.2a、F6.3、F6.4、F6.8、F6.11)

# Aリスト要件

## 気 総排出量の内5%以上を指す

- **重要な範囲**を報告除外対象に含めていない(C6.4, C6.4a)
- スコープ1および2総排出量のそれぞれ、またスコープ3の少なくとも一つのカテゴリーの排出量について70%以上の第三者検証を受けている (C10.1a、C10.1b、C10.1c)
- スコープ1および2総排出量を回答している(C6.1、C6.3)

## 水セキュリティ

- **重要な範囲**を報告除外対象に含めていない(W0.6、W0.6a)

## フォレスト

- **重要な範囲**を報告除外対象に含めていない(F0.5, F0.5a)
- すべての直接操業とサプライチェーンの包括的、かつ、徹底的なリスク評価が行われたことを実証している(F2.1a)
- 森林減少と森林劣化に関連したコミットメントに向けた行動を実証している(F4.5、F4.5a、F4.6、F6.1、F6.2、F6.2a、F6.3、F6.4、F6.8、F6.11)

# スコアリング手法



▼各質問に、情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップの各レベルの配点が設定されています。

例：C1.1a 取締役会における気候関連課題の責任者の職位をお答えください。

個人の職位	説明してください
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>取締役会議長</li><li>取締役</li><li>最高経営責任者(CEO)</li><li>最高財務責任者(CFO)</li><li>最高執行責任者(COO)</li><li>最高調達責任者(CPO)</li><li>最高リスク管理責任者(CRO)</li><li>最高サステナビリティ責任者(CSO)</li><li>最高投資責任者(CIO) [金融サービスのみ]</li><li>最高財務責任者(CCO) [金融サービスのみ]</li><li>最高契約査定責任者(CUO) [金融サービスのみ]</li><li>その他の経営幹部役員</li><li>社長</li><li>取締役会レベルの委員会</li><li>その他、具体的にお答えください</li></ul>	<p>文章記入欄[最大2,400文字]</p>

# スコアリング手法



## C1.1a 採点基準

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>[個人の職位]欄で選択肢から選択している ⇒<b>1ポイント</b></li> <li>[説明してください]欄詳細を説明している ⇒<b>1ポイント</b></li> </ul>	<p>該当する人物について、[個人の職位]、[説明してください]の両方の欄を回答している ⇒<b>1ポイント</b></p>	<p><u>情報開示レベルが満点でなければマネジメントポイントは与えられない。</u></p> <p>[説明してください]欄の説明内容が、[個人の職位]欄で選択された選択肢と矛盾していない、そして個人の責任が気候問題にどのように関連しているかの説明を記入 ⇒<b>2ポイント</b></p>	<p><u>マネジメントレベルが満点でなければリーダーシップポイントは与えられない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[個人の職位]欄で取締役会議長、CEO等、特定の職位を選択 ⇒<b>1ポイント</b></li> </ul> <p>(上記の1点が付与されたうえで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[説明してください]欄で、この2年以内に個人/委員会が行った気候関連の意志決定の事例を1つ以上記入 ⇒<b>1ポイント</b></li> </ul>
配点合計	2ポイント	1ポイント	2ポイント	2ポイント

# CDPのスコアリング 注意点



- ▼スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。  
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等は評価には反映されません。

## NG回答例

- ・「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www~~~>）をご覧ください。」
- ・「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
  - **Please explain**や**Description**は必ず記入してください。（Comment欄は任意記述です）
  - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のまま、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。（例えばC1.1aでは、マネジメントレベルで評価されるためには、情報開示レベルで満点が付与されている必要がある）

# CDPのスコアリング 注意点



- ▼ 気候変動／水セキュリティ／フォレストの質問書の各テーマに即した記述をしてください。また、環境／ESG／サステナビリティなど包括的な記述は避けてください。

## NG回答例①

(気候関連リスクと機会が研究開発費に影響を及ぼしたことについての説明)

「環境関連の研究開発費は●●円です。」  
↳ 環境全般ではなく、気候変動に特化した研究開発費について回答してください。

## NG回答例②

(気候関連リスクの詳細に関する説明)

「地震による津波によって、沿岸部の工場が浸水する被害が想定される。」  
↳ 地震も重要な自然災害の一つですが、気候変動とは関係がありません。

- ▼ 個人名など、個人情報回答に含めないようにしてください。

例えば、C1.1aでは気候関連課題の責任者の職位とその説明をしていただきますが、**個人名ではなくあくまで役職**をご記載いただきます。

# CDPのスコアリング 注意点

## (自由記述欄：自社固有／ケーススタディ)



### ▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的な影響、自社の具体的な活動、固有の製品／サービス、について記載してください。

不十分な回答例  0点	平均的な回答例  0点	良い回答例  得点
<p>日本には、地震や台風、大雨などの自然災害による水害リスクにさらされている地域があります。これらのリスクは、バリューチェーン全体で取り組むべき経営課題であると認識しています。</p>	<p>特に日本国内の拠点では、地震や台風、豪雨などの自然災害による水害のリスクにさらされています。これらのリスクは、バリューチェーン全体での取り組みが必要な経営課題であると認識しています。洪水は、従業員や施設、在庫に被害を与え、物流（原材料の供給や完成品の出荷）が機能しなくなる可能性があります。</p>	<p>全生産量の3割を占める日本国内の拠点、特にA県とB県に立地するC工場とD工場は、地震や台風、大雨などの自然災害による浸水リスクにさらされています。これらのリスクは、バリューチェーン全体で取り組むべき経営課題であると認識しています。例えば、大雨による洪水で最大4週間生産が停止するなど、日本での事業の60%が中断するリスクにさらされています。</p>

# CDPのスコアリング 注意点

## (自由記述欄：自社固有／ケーススタディ)

### ▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「Situation-Task-Action-Result (STAR)」アプローチに沿った記載を含めていただくことを推奨しています。

- 1) 状況 (Situation) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (Task) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (Action) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (Result) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

これらについて、**自社に固有の (Company-specific) 情報**、**具体的な時間と場所の情報**などを含めて記述いただくことが望ましいと言えます。

# CDPのスコアリング FAQ



## ▼ 回答言語（日本語／英語）でスコアに差がありますか？

⇒スコアに差はありませんが、海外の顧客企業から回答依頼を受けている場合は英語で回答してください。

日英併記の回答の場合、スコアリングは出来かねますのでご注意ください。  
（日本語または英語のどちらかに統一してください）

### Submit your response

- Before you submit, please check the pre-submission checklist in [Using CDP's Disclosure Platform - Companies](#) guide.
- Your choice of public or non-public submission impacts how CDP can handle your response and where it will be shared. Please refer to the [CDP's Disclosure Platform - Companies](#) guide for more information on the publication of scores.

\* In which language are you submitting your response?

English

回答言語を正しく選択してください。

# CDPのスコアリング FAQ



▼全ての質問に答えなければなりませんか？

⇒可能な質問のみ回答頂ければ結構です。

(ただし、無回答部分が少ない方が高評価になります。)

▼回答して低いスコアがつくよりは、無回答のままの方がよい？

⇒たとえスコアが低くても、回答企業は無回答企業より高評価になります。

▼セクター別の質問が自社の事業に該当していないように思われる

⇒どのセクター別質問の対象になるかは、企業のセクター分類によって決まります。より適切なセクター分類に変更をご希望の場合は事務局までご相談ください。

# CDPのスコアリングを理解するために



スコアリングの透明性を高めるため、すべてのスコアリングに関連する情報はウェブサイト上に掲載しており、日本語訳も作成しています。回答の際にご参照ください。  
また各プログラムのウェビナーでもスコアリングに関連した情報をご案内しています。

## CDP scoring methodologies



### Climate change

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 climate change request (updated April 1, 2020)



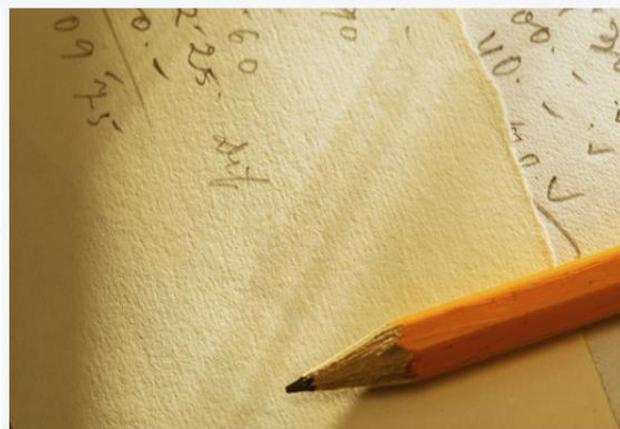
### Forests

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 forests request (updated April 15, 2020)



### Water security

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 water security request (updated April 17, 2020)



### Scoring Introduction

An introduction to how scoring is applied to all of CDP questionnaires. (updated April 27, 2020)



- CDPスコアリング基準  
（気候変動、水セキュリティ、フォレスト、SER）
- スコアリングイントロダクション
- SERイントロダクション
- スコアリングカテゴリーとウェイト
- 2021年からの変更点

※日本語版は日本企業のみなさまの理解を促進するために作成しておりますが、最新の状況を反映しきれていない可能性もあります。最新の情報については英語版をご確認ください。

# CDPのスコアリングを理解するために（日本語資料）



CDPジャパン ホーム プログラム イベント **情報開示** 開示サポート パートナー



## 企業情報開示

CDPキャピタルマーケット、CDPサプライチェーンの質問書ならびにガイダンスを公開しています。ご活用ください。

[企業の方はこちら](#)



## 自治体情報開示

CDPシティの質問書ならびにガイダンスを公開しています。ご活用ください。

[自治体の方はこちら](#)

## スコアリング基準

CDPは、気候変動、フォレスト、水セキュリティ質問書の回答企業に環境影響の計測・管理を促すようにスコアリング基準を定めています。各CDP質問書（気候変動、フォレスト、水セキュリティ）は、個別のスコアリング基準を持ちます。

CDP質問書のスコアリングは、CDPによってトレーニングを受け、認定されたスコアリングパートナーによって実施されます。CDP内部のスコアリングチームは、すべてのスコアとデータの質のチェックを行い、各スコアリングパートナーと各サンプルの間でスコアリング基準が守られているか等の品質管理を行っています。

質の高い情報の公平な提供者としてのCDPの評価を維持することは大変重要であると考えています。詳細は、[利益相反ポリシー](#)をご確認ください。

CDPスコアリング基準の日本語版は言語を日本語へ切り替えることでご覧いただけますが、正式なCDPスコアリング基準は英語版となりますので、更新などの情報含め必ず英語版もご確認ください。

※日本語版は日本企業のみなさまの理解を促進するために作成しておりますが、最新の状況を反映しきれていない可能性もあります。最新の情報については英語版をご確認ください。

<https://japan.cdp.net/disclosure>



### 気候変動

気候変動スコアリング基準 2022



### フォレスト

フォレストスコアリング基準 2022



### 水セキュリティ

水セキュリティスコアリング基準 2022

# CDPが提供している主な資料（リンク集）



- ▼ [よくあるご質問（FAQ）](#)
- ▼ [回答ダッシュボード使用方法（アカウントの作成など）](#)
- ▼ [オンライン回答システム使用方法](#)
- ▼ [スコアリングイントロダクション](#)
- ▼ [気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書](#)
- ▼ [各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準](#)
- ▼ [各質問書に関するウェビナー（動画・資料）](#)
- ▼ [各質問書の前年からの変更点](#)
- ▼ [公開されている他社回答へのアクセス](#)
- ▼ [日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書](#)
- ▼ [CDPジャパンが開催するセミナー情報（過去の録画・資料含む）](#)
- ▼ [初回答ウェビナーシリーズ（過去の開催資料・ウェビナー）](#)
- ▼ 第1回 2月25日（金）CDPとTCFD [発表資料](#)・[当日録画](#)
- ▼ 第2回 3月24日（木）CDPとTCFD（ガバナンス・戦略） [発表資料](#)・[当日録画](#)
- ▼ 第3回 4月22日（金）CDPとTCFD（リスク認知） [発表資料1](#)・[発表資料2](#)・[当日録画](#)
- ▼ 第4回 5月27日（金）CDPとTCFD（指標と目標） [発表資料](#)・[当日録画](#)

# CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

ご登録フォーム



こちらからご覧いただけます。



**創刊のご挨拶**

平素よりCDPの活動にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、CDPでは、本年度より日本のステークホルダーの皆様に向けて、ニュースレターを配信することになりました。私どものエンゲージメント活動やレポートの発刊、イベント情報などをお届けして参ります。ご活用いただけましたら幸いです。



今月11日から13日にかけて英国のコーンウォールのカービスベイで開催されたG7首脳会議では、気候変動対策が大いに議論されました。会議後に公表された共同声明では、2050年までのネットゼロの達成およびそれに沿う2030年目標へのコミットメントが謳われ、産業界のRace to Zeroキャンペーンへの参加や科学に基づく目標を通じた気候変動対策が歓迎され、奨励されました。

また、それに先立って開催されたG7財務大臣会議では、TCFDの枠組みに基づく開示の義務化に向けて支持が表明され、インパクト報告の重要性への認識も示されました。



金融を介した脱炭素化の取り組みが勢いを増しています。今月上旬にイタリアのベニスで開催されたG20財務大臣・中央銀行総裁会議では、気候変動が金融安定にもたらすリスクがあらためて認識され、気候関連財務リスクに対処し、サステナブル・ファイナンスを動員するための環境整備の必要性が確認されました。これを受けて、翌週の日本銀行政策決定会合では、金融機関に気候変動対応の投融資を促す新制度の骨子が示されました。また、民間サイドでも、今月、新たに41の資産運用会社が脱炭素化を支援する国際金融イニシアティブに加わるなどの動きを見せています。



## CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



[www.cdp.net/ja/japan](http://www.cdp.net/ja/japan) (日本語サイト)



お問い合わせ : [japan@cdp.net](mailto:japan@cdp.net)